

団体競技「徒手」規則（2023年愛知県特別ルール）

【総則】 原則として、2022-2024年（財）日本体操協会新体操競技規則を基本とし、音楽の選択を中心に個性ある構成を創り出し5名で表現すること。
演技時間は、2分15秒～2分30秒まで

【難度の数とレベル】 団体演技には以下の難度が含まなければならない。

	難度	数	価値
DB	身体難度 (実施順)	最高7個	各身体難度の価値点
		ジャンプ・バランス・ローテーション全員で各1個以上行うこと。 サブグループは2個まで可能 コンバイン難度は禁止	
	全身の波動 (W)	最低2個	0
DA	連係 (実施順)	最低4個 最高13個	
		足をフロアについたままパートナーの間や下をくぐり抜ける	0.1
		膝より下にいるパートナーの上を通過する*垂直軸での回転を含む	0.1
		膝より上にいるパートナーの上を通過する*垂直軸での回転を含む	0.2
		プレアクロバットを入れて膝より下にいるパートナーの上を通過する *同じプレアクロバットグループ内の繰り返しは不可	0.3
		プレアクロバットを入れて膝より上にいるパートナーの上を通過する *同じプレアクロバットグループ内の繰り返しは不可	0.4
	腰より上に持ち上げるリフト ※1回のみ ※5人全員が関わること。例) リフトの下をくぐるなども可 他の連係と組み合わせても加点されない。		0.5

*プレアクロバット要素は各グループから1回 (各グループ床とパートナー達の補助を伴う/パートナー達の上で実施することができる。これらは異なる要素とみなす。)

ダンスステップコンビネーション *ステップ中はステップのみの動きにする	最低3個	0
-------------------------------------	------	---

【点数の配分】

得点			
第1グループ (DB)	第2グループ (DA)	芸術 (10点)	技術 (10点)
身体難度を演技順に評価	連係を演技順に評価	芸術的欠点	技術的欠点
(例) 全て価値0.2の価値を行った場合 0.2×7個=1.4	選手間の連係 0.1+0.2+0.1+0.5=0.9	<ul style="list-style-type: none"> 動きの特徴 ダンスステップ ダイナミックな変化 身体の表現 共同作業 フォーメーション 統一性 つながり リズム 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の動き 総則 基礎技術 ジャンプ バランス ローテーション プレアクロバット 同時性 フォーメーション

◆構成の減点表

	難度	最低/最高	減点 0.30
DB	身体難度		<ul style="list-style-type: none"> 各身体グループが1難度より少ない不足の各身体難度に対して減点 各身体グループから1難度が5名全ての選手により同時（または素早い連続にて：サブグループではなく）実施されていない
	全身の波動 (W)	最低2個	各不足に対し減点
DA	連係	最低4個	各不足に対し減点

◆実施の減点表

2022-2024年（財）日本体操協会新体操競技規則に準じる

- ・芸術の共同作業（同時性/コーラル/カノン/コントラスト）各不足に対し-0.3
- ・ステップは1つ不足に対し-0.3（2つ不足-0.6、3つ不足-1.0）